

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2019年4月～6月期実績、2019年7月～9月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体のすべての指標が悪化































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△16.1、採算D Iが△22.3、資金繰りD Iが△15.7となり、対前期比でそれぞれ4.7ポイント、2.9ポイント、7.1ポイント減少し、すべての指標で悪化に転じた。産業別では、製造業の各D Iで大幅な悪化・低下が目立つ結果となった。

次期予想は、売上額D Iが更に5.0ポイント低下するものの、採算D I、資金繰りD Iは好転する見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △16.1（対前期比 △4.7 悪化） 次期予想 △21.1（対前期比 △5.0 低下）
- ・採算D I △22.3（対前期比 △2.9 悪化） 次期予想 △18.3（対前期比 4.0 好転）
- ・資金繰りD I △15.7（対前期比 △7.1 悪化） 次期予想 △6.8（対前期比 8.9 好転）

産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年7月～9月		△13.5 		△23.2 		△12.4 
2018年10月～12月		△14.6 		△23.1 		△8.9 
2019年1月～3月		△11.4 		△19.4 		△8.6 
2019年4月～6月		△16.1 		△22.3 		△15.7 
2019年7月～9月 （見通し）		△21.1 		△18.3 		△6.8 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は全てのD Iで大幅に悪化または低下































製造業では、売上額D Iが△25.8ポイントとなり、対前年比で16.9ポイント低下し3期連続のマイナスとなった。採算D Iが△32.3ポイント、資金繰りD Iが△20.6ポイントとなり、対前期比でそれぞれ20.5ポイント、14.6ポイント悪化し2ケタの大幅なマイナスとなった。

次期は、採算D I、資金繰りD Iが若干回復する見込みで、売上D Iは大幅に低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △25.8 (対前期比 △16.9 低下) 次期予想 △37.1 (対前期比 △11.3 低下)
- ・採算D I △32.3 (対前期比 △20.5 悪化) 次期予想 △27.3 (対前期比 5.0 好転)
- ・資金繰りD I △20.6 (対前期比 △14.6 悪化) 次期予想 △15.7 (対前期比 4.9 好転)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年7月～9月		11.8 		△20.6 		△5.9 
2018年10月～12月		△2.9 		△26.5 		△11.7 
2019年1月～3月		△8.9 		△11.8 		△6.0 
2019年4月～6月		△25.8 		△32.3 		△20.6 
2019年7月～9月 (見通し)		△37.1 		△27.3 		△15.7 

(2) 建設業

建設業は売上額D I と採算D I が若干の改善































建設業では、売上額D I が11.5、採算D I が△11.5となり、対前年比でそれぞれ2.7ポイント、0.5ポイント上昇した。資金繰りD I は△15.4となり、対前期比で15.4ポイント悪化し大幅なマイナスとなった。

次期は、売上額D I が悪化するが、採算D I と資金繰りD I が上昇・好転となる見通しである。

主要3D I の対前年同期比推移

- ・売上額D I 11.5 (対前期比 2.7 上昇) 次期予想 △11.5 (対前期比 △23.0 悪化)
- ・採 算D I △11.5 (対前期比 0.5 上昇) 次期予想 △3.8 (対前期比 7.7 上昇)
- ・資金繰りD I △15.4 (対前期比 △15.4 悪化) 次期予想 △7.7 (対前期比 7.7 好転)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年 7月～9月		△8.0 		△16.0 		0.0 
2018年 10月～12月		△16.0 		△16.0 		△4.0 
2019年 1月～3月		8.8 		△12.0 		0.0 
2019年 4月～6月		11.5 		△11.5 		△15.4 
2019年 7月～9月 (見通し)		△11.5 		△3.8 		△7.7 

(3) 小売業

小売業では売上額D Iが大幅に悪化































小売業では、売上額D Iが $\Delta 27.1$ 、資金繰りD Iが $\Delta 18.7$ となり、対前期比でそれぞれ12.2ポイント、1.3ポイント悪化・低下した。採算D Iは $\Delta 29.2$ となり、4.8ポイント上昇し、3期連続で回復した。回復基調にあった売上額D Iが今期は大幅な悪化に転じた。

次期は、売上額D Iは横這いで、採算D Iと資金繰りD Iは上昇・好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 27.1$ (対前期比 $\Delta 12.2$ 悪化) 次期予想 $\Delta 27.1$ (対前期比 0.0 横這)
- ・採算D I $\Delta 29.2$ (対前期比 4.8 上昇) 次期予想 $\Delta 23.4$ (対前期比 5.8 上昇)
- ・資金繰りD I $\Delta 18.7$ (対前期比 $\Delta 1.3$ 低下) 次期予想 $\Delta 4.2$ (対前期比 14.5 好転)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年 7月～9月		$\Delta 22.8$ 		$\Delta 42.6$ 		$\Delta 23.4$ 
2018年 10月～12月		$\Delta 16.7$ 		$\Delta 36.2$ 		$\Delta 16.6$ 
2019年 1月～3月		$\Delta 14.9$ 		$\Delta 34.0$ 		$\Delta 17.4$ 
2019年 4月～6月		$\Delta 27.1$ 		$\Delta 29.2$ 		$\Delta 18.7$ 
2019年 7月～9月 (見通し)		$\Delta 27.1$ 		$\Delta 23.4$ 		$\Delta 4.2$ 

(4) サービス業

サービス業の景況感はほぼ横這い

サービス業では、売上額D Iが $\Delta 14.1$ となり、対前期比で2.8ポイント上昇し、3期連続のプラスとなった。採算D Iは $\Delta 16.9$ となり、4期連続で低下したが、マイナスは小幅にとどまった。資金繰りD Iは、 $\Delta 11.5$ ポイントとなり、2期連続で低下した。































今期は、各D Iの対前期比で若干の変動が見られたが、ほぼ横這いであった。

次期は、売上額D Iが引き続き上昇する見込みで、採算D Iと資金繰りD Iは好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 14.1$ (対前期比 2.8 上昇) 次期予想 $\Delta 12.7$ (対前期比 1.4 上昇)
- ・採算D I $\Delta 16.9$ (対前期比 $\Delta 1.0$ 低下) 次期予想 $\Delta 15.9$ (対前期比 1.0 好転)
- ・資金繰りD I $\Delta 11.5$ (対前期比 $\Delta 4.4$ 低下) 次期予想 $\Delta 4.3$ (対前期比 7.2 好転)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年 7月～9月		$\Delta 21.2$ 		$\Delta 14.0$ 		$\Delta 12.7$ 
2018年 10月～12月		$\Delta 18.0$ 		$\Delta 15.3$ 		$\Delta 4.1$ 
2019年 1月～3月		$\Delta 16.9$ 		$\Delta 15.9$ 		$\Delta 7.1$ 
2019年 4月～6月		$\Delta 14.1$ 		$\Delta 16.9$ 		$\Delta 11.5$ 
2019年 7月～9月 (見通し)		$\Delta 12.7$ 		$\Delta 15.9$ 		$\Delta 4.3$ 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	11.4%	生産設備、OA機器 その他	20.0%	生産設備、OA機器 その他
建設業	0.0%	該当なし	7.7%	車両運搬具
小売業	12.5%	店舗、販売設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	12.8%	店舗、販売設備 車両運搬具、OA機器 その他
サービス業	9.9%	サービス、車両運搬具 OA機器	11.3%	土地、建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、福利厚生施設 その他

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	26.7%
	2位	原材料価格の上昇	23.3%
	3位	生産設備の不足・老朽化	20.0%
建設業	1位	材料価格の上昇	27.8%
	2位	大企業の進出による競争の激化 下請単価の上昇	11.1%
小売業	1位	仕入単価の上昇	17.9%
	2位	消費者ニーズの変化 需要の停滞	15.4%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	22.0%
	2位	店舗施設の狭隘・老朽化	20.3%
	3位	利用者ニーズの変化	15.3%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2019年4月から6月の第1四半期を対象とし、調査時点は2019年6月1日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業48企業、サービス業72企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和元年7月29日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041